

# 貧困連鎖断ち切ろう

## 高知市で全国キャラバン

反貧困全国キャラバンが29日高知県入りし、高知市の中央公園で40人余りが参加して相談会や宣伝が多彩に取り組みました。県労働者福祉協議会、クレシット・サラ金被害者の会「高知うるこの会」など4団体で県の実行委員会を作りました。

問嶋祐一・労協協会長が「身近にある貧困をなくしていく取り組みを強めよう」とあいさつ。法律やこのの問題、労働の三つの相談コーナーが設けられ、生活保護や金融問題を相談する人が訪れていました。相談には、弁護士や司法書士、臨床心理士らが応



呼びかけに応じてシール投票をする人が多くいました＝29日、高知市

「政府に求める政策」とは「仕事を増やして収入を増やして欲しい」と話していただきました。

は「仕事でつらいこと」は「仕事を増やして収入を増やして欲しい」と話していただきました。

相談員を務めた博明司法書士は「生活保護基準切り下げや非正規雇用など社会のシステムが貧困を作りだしている。貧困の連鎖を断つ運動と世論を高めたい」と話していただきました。キャラバンは、10月3日まで県内の自治体を訪問します。